

第13回北海道胃瘻研究会

日時：平成27年11月21日(土) 13:00~17:30 (12:00受付開始)
場所：札幌コンベンションセンター 特別会議場 (地下鉄東西線「東札幌駅」下車 徒歩10分)
参加費：医師 3,000円 / 医師以外 1,000円



－ プログラム －

【開会の辞】 北海道胃瘻研究会 代表世話人 倉 敏郎 (町立長沼病院)

【一般演題】

【セッション1】 13:05~13:30 座長：長岡康裕 (時計台記念病院)

- 「当院における胃瘻造設 340 症例の生存分析」 宮の森記念病院 真崎 茂法 ほか
- 「新型イントロデューサー変法造設キット(イディアルシース)の使用経験」 町立長沼病院 倉 敏郎 ほか
- 「Coaxial 式イントロデューサーPEG キットを使用したバンパー型ボタン留置の使用経験」 JA 北海道厚生連帯広厚生病院 柳澤 秀之

【セッション2】 13:30~13:55 座長：太田智之 (札幌東徳洲会病院)

- 「当院の医療安全を考慮した内視鏡下胃瘻造設術」 函館五稜郭病院 目黒 英二 ほか
- 「経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)後、早期にバンパー埋没症候群を引き起こした1例」 札幌しらかば台病院 檜森 亮吾 ほか
- 「特異な糞石の1例」 平野総合病院 島崎 信 ほか

【セッション3】 13:55~14:20 座長：中村誠志 (JCHO 登別病院)

- 「とろみ付流動食の有用性」 清水赤十字病院 児玉 裕香子 ほか
- 「食道裂孔ヘルニアに伴う誤嚥性肺炎に対し、NST 介入が有効であった1症例」 協立病院 吉村 由梨 ほか
- 「代償的手段の導入により胃瘻造設後の経口摂取の継続、会話の満足度の維持が可能であった多系統萎縮症患者の1例」 洞爺温泉病院 鈴木 佑人 ほか

(休憩) 14:20~15:00 (初の試みとして展示企業のプレゼンテーションを行います)

【セッション4】 15:00~15:25 座長：小池和彦 (札幌清田病院)

- 「当院における胃瘻外来の経験について：嚥下内視鏡検査を導入して」 釧路労災病院 小田 寿
- 「栗山赤十字病院における転院先の栄養管理情報の現状について」 栗山赤十字病院 真井 睦子 ほか
- 「胃瘻造設依頼がキャンセルとなった症例の検討」 札幌清田病院 松木 みどり ほか

【セッション5】 15:25~15:50 座長：鈴木 進 (留萌セントラルクリニック)

- 「経鼻内視鏡による嚥下内視鏡検査(VE)の有用性」 中島病院 星 智和 ほか
- 「筋委縮性側索硬化症に対する PEG とその問題」 旭川医療センター 横浜 吏郎 ほか
- 「嚥下時、喉頭蓋が閉じるのはシーソーの原理による」 JA 北海道厚生連帯呂厚生病院 千石 晃

(休憩) 15:50~16:20

【共催セミナー】 16:20~17:20

司会：藤城 貴教 (清水赤十字病院)

「経腸栄養の管理プランとリスクマネジメント」

医療法人真徳会沖縄メディカル病院あがりはまクリニック 院長 吉田 貞夫 先生

(共催：株式会社大塚製薬工場)

【閉会の辞】 第13回北海道胃瘻研究会 会長 藤城 貴教 (清水赤十字病院)

後 援：北海道医師会 札幌市医師会 北海道看護協会 北海道栄養士会 北海道総合在宅ケア事業団 北海道消化器内視鏡技師会

* 本講演会は北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(4単位)として開催致します。

カリキュラムコード：4.医療倫理、10.チーム医療、13.地域医療、15.臨床問題解決のプロセス、22.体重減少・いらい、49.嚥下困難、78.脳血管障害後遺症、80.在宅医療

* 生涯教育制度の取得単位登録には、氏名以外に「医籍登録番号」が必要です。受付時に忘れずにご記入願います。

* 本講演会は日本静脈経腸栄養学会認定資格 栄養サポートチーム専門療法士認定講座(2単位)として開催致します。